

14.1

問題文でモデル変数がんと x_n と t_n と π と書いてある。

特に x_n はモデル変数 h_n に依存する変数でさうに x_n 自身もモデル変数として機能する。

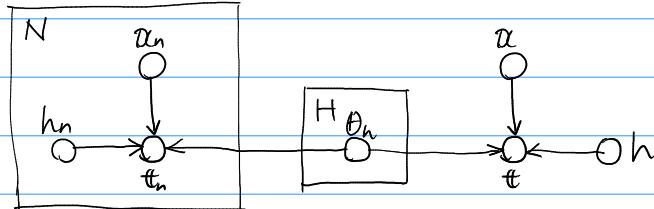
これは t_n と複雑すぎる「何かか何やら」が入るから。

つまり x_n は除いた、モデル変数 h_n の2者を二つにすれば。

(モデル結合の場合)

モデル結合において、モデル変数は (t_n, α_n) , (t, π) とに存在する。

ということに注意して、他の変数のリンクは適当に仮定してモデル図を考えてよ。



$$\Theta = \{\theta_h\}, X = \{x_n\}, \Pi = \{t_n\} \in \mathbb{R}^3$$

$$\begin{aligned}
 p(t|x, \Pi, \Pi) &= \int p(t, \theta|x, \Pi, \Pi) d\theta \xleftarrow{\text{独立性}} \\
 &= \int p(t|\theta, x, \Pi, \Pi) p(\theta|x, \Pi, \Pi) d\theta \xleftarrow{\text{乗法定理}} \\
 &= \int p(t|\theta, x) p(\theta|x, \Pi) d\theta \xleftarrow{\substack{\text{独立性} \\ t \perp \theta | x, \Pi}} p(\theta|x, \Pi) = \frac{p(\theta, x, \Pi)}{p(x, \Pi)} \\
 &\quad = \frac{p(x, \Pi | \theta, x) p(\theta | x)}{p(x, \Pi)} \\
 p(t|\theta, x) &= \sum_{h=1}^H p(t, h|\theta, x) = \sum_{h=1}^H p(t|h, \theta, x) p(h) \xleftarrow{\text{乗法定理}} \\
 &\quad = \frac{p(x, \Pi | \theta, x) p(\theta | x)}{p(x, \Pi)} \xleftarrow{\substack{x, \Pi \perp \theta | x \\ \theta \perp x | \theta}} \\
 &\quad = p(\theta|x, \Pi)
 \end{aligned}$$

$$p(\theta|x, \Pi) = \frac{p(\theta, x, \Pi)}{p(x, \Pi)} \xleftarrow{x, \Pi \text{ は訓練データに固定され } p(x, \Pi) \text{ は定数}}$$

$$\begin{aligned}
 &\propto p(\theta|x, \Pi) = p(x, \Pi | \theta) p(\theta) \xleftarrow{\text{乗法定理}} \\
 &= \frac{1}{T} \prod_{n=1}^N p(x_n, t_n | \theta) p(\theta) \xleftarrow{(x_n, t_n) \text{ は独立に仮定されるから}} \\
 &= \frac{1}{T} \prod_{n=1}^N \sum_{h=1}^H p(x_n, t_n, h_n | \theta) p(\theta) \xleftarrow{\text{乗法定理}} \\
 &= \frac{1}{T} \prod_{n=1}^N \sum_{h=1}^H p(x_n, t_n | h_n, \theta) p(h_n | \theta) p(\theta) \xleftarrow{h_n \perp \theta | \theta} \\
 &= \frac{1}{T} \prod_{n=1}^N \sum_{h=1}^H p(x_n, t_n | h_n, \theta) p(h_n) p(\theta)
 \end{aligned}$$

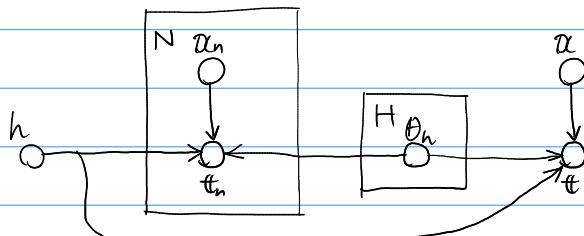
5, 7

$$p(t|x, \Pi, \Pi) \propto \left\{ \sum_{h=1}^H p(t|h, \theta, x) p(h) \right\} \left\{ \frac{1}{T} \prod_{n=1}^N \sum_{h=1}^H p(x_n, t_n | h_n, \theta) p(h_n) p(\theta) \right\} d\theta$$

となる。各々の (t_n, x_n) , (t, Π) 各々は別々のモデル変数 h_n, h を存在しているのが石塁である。

(ベイズモデル平均の場合)

ベイズモデル平均において、モデル変数は全ての $(t_n, \alpha_n), (\tau, \alpha)$ に共通に存在する。
ということに注意して、他の変数のリンクは適当に仮定してモデル図を考えてみる。



$$\Theta = \{\theta_h\}, X = \{x_n\}, T = \{t_n\} \in \mathbb{R}^3$$

$$\begin{aligned} p(\tau | x, X, T) &= \sum_{h=1}^H \int p(\tau, \theta, h | x, X, T) d\theta \\ &= \sum_{h=1}^H \int p(\tau | \theta, h, x, X, T) p(\theta, h | X, T) d\theta \\ &= \sum_{h=1}^H \int p(\tau | \theta, h, x) p(\theta, h | X, T) d\theta \quad \text{--- } \tau \perp\!\!\!\perp X, T | \theta \\ &\quad \text{--- } \theta, h \perp\!\!\!\perp x | \sigma \end{aligned}$$

$\sigma = \tau$

$$\begin{aligned} p(\theta, h | X, T) &= \frac{p(\theta, h, X, T)}{p(X, T)} \quad \text{--- } X, T \text{ は測定値に固定され } p(X, T) \text{ は定数} \\ &\propto p(X, T | \theta, h) p(\theta, h) \quad \text{--- } \theta \perp\!\!\!\perp h | \sigma \\ &= \prod_{n=1}^N p(x_n, t_n | \theta, h) p(\theta) \quad \text{--- } (x_1, t_1) \dots (x_N, t_N) \text{ は独立} \end{aligned}$$

よって

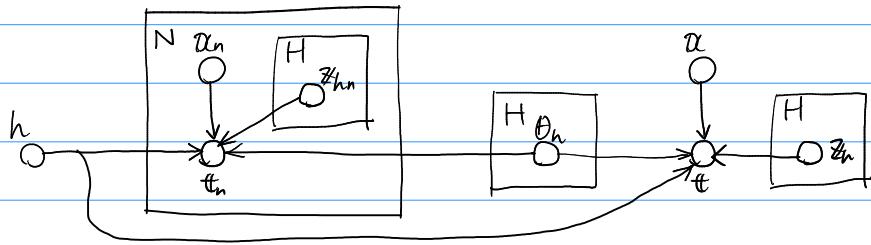
$$p(\tau | x, X, T) = \sum_{h=1}^H \int p(\tau | \theta, h, x) \prod_{n=1}^N p(x_n, t_n | \theta, h) p(\theta) d\theta$$

です。

つまり $(t_n, \alpha_n), (\tau, \alpha)$ は共通の 1 つのモデル変数しか存在していないのが確認できました。

(web の 解答 は 7/11 で)

web の 解答 では おそらく ベイズ モデル 平均と モデル 結合 の 混在 して モデル 図 を
考へて いる と 思われる。 こんな感じ



h は ベイズ モデル 平均 の ため の モデル 変数 で
 z_h, z_{hn} は モデル 結合 の ため の モデル 変数 である。